

# Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

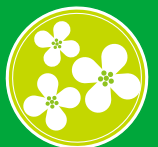
2013  
平成25年

5.15

先人に思いを馳せる  
田原のまつり文化!

目次

「しみんの広場」	2
まつり会館リニューアル	
地域が守る 安心して暮らせる安全なまち	
地域の話	
市民活動を応援するページ	
スクールレポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



# しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

## もくじ

- 館内の見どころを紹介します……………2ページ
- 自主防災会活動事例(田原南部和地校区)……………3ページ
- 地域の話(若戸校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

田原まつり会館がリニューアルオープン!

## 館内の見どころをご紹介します

市民発!

市民の皆さんから広報たはらに寄せられるお便りの中には、防災や健康に関すること、公共施設や地域に関する情報を教えてほしいなど、さまざまな要望があります。今回は、田原まつり会館の見どころをご紹介します。



●リニューアルした田原まつり会館



●展示されている本町と萱町の山車



●玄関には田原風を展示



●打ち上げ花火の尺玉



●館内2階の展示室

## 田原まつり会館は、田原市独自の文化を発信する施設です。

田原市の城下町文化を伝える山車の展示や、江戸時代から受け継がれる田原風などを中心に、壮大なまつりの情景を再現し紹介しています。

この会館が、案内看板やトイレなどの一部改装を終え、4月にリニューアルオープンしました。玄関ホールでは、初孫の誕生を祝い、子どもへの健やかな成長などを願うための「初風」が、皆さんをお迎えしています。

## ◆城下町文化の粋を伝える山車

施設1階には、本町の「神功皇后車」と、萱町の「総代車」の2台の山車が展示され、その華やかな姿を間近に見ることができます。また、2階の展示室では、祭典や花火に関わる道具の展示も一緒に楽しむことができます。

## ◆大空を縦横無尽・田原の風

三河地方は日本でも有数の伝統風の宝庫。ここ田原市でも、「初風」と「けんか風」は、現在も個性豊かに受け継がれています。

田原まつり会館では、三河有数の巨大風「熊金」を展示しており、その迫力には圧倒されます。さらに、壁一面に装飾された色鮮やかな数々の田原風も必見です。



●巨大風「熊金」

※5月25日(土)・26日(日)には、伝統の『第53回田原風まつり』が開催されます。詳しくは、田原まつり会館へお問い合わせください。

## ◆田原まつり会館

電話 : 22 局 7337  
 開館時間 : 9:00 ~ 17:00  
 (入館は 16:30 まで)  
 休館日 : 月曜日 (祝日の場合はその翌平日)  
 入館料 : 無料





# 地域が守る 安心して暮らせる安全なまち

田原市では、市内すべての地区に自主防災会が組織され、それぞれの地域特性に合った防災活動に取り組んでいます。ここでは、平成24年度の『自主防災活動重点支援地区』として、田原南部校区と和地校区が取り組んだ活動をご紹介します。▼防災対策課 ☎23局3548

## 自主防災会活動【事例紹介1】

### 田原南部校区

【人口・世帯】：自25年3月末現在  
13095人・375世帯

【概要】

市の中心部からやや南西に位置し、北は山々に囲まれ、三方に農地が広がっています。1校区1自主防災会で組織され、訓練や研修などを通して、地域の防災力向上を図っています。

【取り組みテーマ】

効果的な防災・減災対策の推進、拡充

【主な取り組み内容】

- 1 家具固定講習会
- 2 木造住宅無料耐震診断の啓発・実施
- 3 女性対象の防災講習会
- 4 住宅用火災警報器の点検など

【取り組み成果】

今までと視点を変えた活動をすることができ、世代や性別を問わず、幅広く校区民への防災意識の啓発ができました。

【今後の目標】

気軽に参加できる訓練や講習会を開催していくとともに、引き続き木造住宅無料耐震診断や家具固定などの啓発を行い、防災意識の高揚を図ります。



●家具固定講習会



●避難状況を確認する自主防災会役員(避難訓練)



●防災キャンプ



●避難訓練

## 自主防災会活動【事例紹介2】

### 和地校区

【人口・世帯】：自25年3月末現在  
1331人・351世帯

【概要】

市の南西部に位置し、北には緑豊かな山々が連なり、南は太平洋に面しています。3つの自主防災会では、津波からの避難対策や家屋の倒壊を防ぐための啓発活動が行われています。

【取り組みテーマ】

地震・津波対策の徹底！  
新たなことにチャレンジ！

【主な取り組み内容】

- 1 木造住宅無料耐震診断啓発
- 2 地震・津波避難マップの修正・配布
- 3 防災キャンプの実施
- 4 住宅用火災警報器の設置促進など

【取り組み成果】

地震・津波避難マップの見直しなど、避難について再認識することができ、新たに取り組んだ防災キャンプを通じて、地域ぐるみで活動することができました。

【今後の目標】

マップを活用した避難訓練や、木造住宅無料耐震診断の啓発を継続的に行っていくとともに、訓練や講演会の参加者拡大を目指していきます。



▲青少年子ども教室でスライムを作る児童たち



▲地域住民なども参加する「ゆりのき祭り」

地域の話題

# 若戸校区

## 地域力を生かした

## 活気のあるまちづくり

さまざまな行事などを通じ、地域の結びつきを大切にしている若戸校区コミュニティ協議会からお便りが届きました。



**若戸** 戸校区は、南は壮大な太平洋に面し、北は半島を縦断する山並みが連なり、田原市最高峰の大山（標高327.9m）があるなど、豊かな自然に恵まれた地域です。

若戸校区では、「活気のあるまちづくり」の一環として、市民館を拠点にさまざまな行事を開催しています。

### ゆりのき祭り

この祭りは、若戸小学校の校庭にあるユリノキをシンボルに、昭和59年から毎年5月に行われています。子どもたちが考えたゲームやアトラクションが各教室で行われます。児童や保護者だけでなく、住民や保育園児も参加するなど、地域の大人と子どもたちとの交流に欠かすことのできない行事となっています。

### 市民館まつり

毎年10月に開催し、多くの住民の皆さんが足を運ぶ恒例行事です。

平成24年度は、赤羽根中学校ブラバンド部の演奏で幕が開かれ、芸能発表が行われたほか、絵画や生け花などの作品展示や各種団体によるクレープ屋台などの出店もあり、終日にぎわいました。

### 青少年子ども教室

この教室は、子どもたちに「作る」「学ぶ」「考える」などの体験を通じて、日常とは違った経験をしてもらうと開催しています。

平成24年度は、「闇夜で光るスライム作り」「ミサンガ作り」「バームクーヘン作り」「親子で作る風作り



教室」親子で行く遠州三山めぐり」など年6回開催し、約250名が参加しました。

このほか、「校区合同運動会」、地域のひとり暮らしのお年寄りと保育園児が交流する「校区ふれあい会」、練習の成果を競い合う「各種スポーツ大会」などを行っています。

### みんなの絆を地域力に

このような地域行事を通じて人と人とがふれあうことで、同世代、異世代間の交流が生まれます。そして地域の活力も絆も一層高まることと期待しています。その地域の結びつきが、地域防犯、地域防災など生活に欠かせない、「かけがえのない礎」となるのだと思います。

今後も若戸校区では、地域力の向上に取り組んでいきます。



▲若戸保育園児による歌の発表（市民館まつり）



# 市民活動を応援するページ



## 市民活動をサポート 市民協働まちづくり事業補助金

### 公開審査会を開催しました

本年度、市民活動団体を支援する「田原市市民協働まちづくり事業補助金」に応募のあった提案事業の公開審査会を開催しました。各団体からの熱い思いが込められたプレゼンテーションに対して、「田原市市民協働まちづくり会議」から選出された5名の審査委員が「公益性」「先駆性」などを基準に審査を行いました。審査の結果、採択された事業は以下のとおりです。今後、各団体の事業がスタートします。市民のみなさんが参加できるものもありますので、ぜひ参加してみてください。



▲プレゼンテーション風景(田原文化会館)

#### ●少額補助は平成26年1月末まで受付

事業費が10万円未満の少額な事業は、平成26年1月末まで随時募集(予算の範囲内)を行っています。手続きは書類審査とヒアリングのみです。ぜひご利用ください。

#### ●補助金採択団体一覧

団体名	事業名	補助要望額
清田・福江校区クリーンアップ隊	渥美半島おもてなし道路清掃活動事業	60,000円
NPO エコウインドネット	エコの風おこそう会!事業	200,000円
Happy Dub	伊良湖音楽とマーケットの祭典	5月19日(日)午前10時～午後5時 休暇村伊良湖にて 88,000円

#### イベント紹介

## いじめられても生きようよ

近日、ニュースによく取り上げられているいじめ自殺問題。心理的に追い詰められた子どもたちを救うことはできないのでしょうか。過去にいじめに遭った方の経験を聴き、参加される皆さんで話し合う機会を設けました。一向に減らないいじめ自殺問題について、みんなで話し合い、考えてみましょう。

- 日時: 6月1日(土) 午後2時～4時
- 場所: 田原福祉センター3階 大会議室
- 参加費: 無料
- 内容: 【前半】当事者による体験談「いじめ体験・大人の対応・命について」  
【後半】参加者みんなでディスカッション
- 定員: 30名(どなたでも参加できます)※申し込みが必要です。
- 主催: 人づくりネットワーク メリーゴーランド
- 申し込み&問い合わせ: ☎090-1724-6948/090-8139-6116(永井)  
FAX 36局 2157 ✉kazun-1976@tees.jp



### 田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

■NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

□このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ: ☎22局 1111(内線812) ※開設時間のみ FAX 23局 0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



# スクールレポート

SCHOOL REPORT 58  
学校生活の  
一コマを紹介

今回は、小学校での「春の遠足」の様子と、中学校での「オリエンテーション合宿」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

## 高松小学校「春の遠足」

### 海と山 自然に親しもう 春の遠足！

高松小学校では、自然に親しむ機会として、隔年で新井海岸と尾村山へ春の遠足に出かけています。

この遠足は「海で遊びながら、自然のすばらしさを感じてほしい」「登山を通じて、気力と自然を大切に思う気持ちを育てたい」などをねらいとしています。

子どもたちはフレンズ班(縦割り)で行動し、海岸では、サンドレリーフを作り、新入生を歓迎するゲームをしています。

昨年の遠足は、新井海岸へ行きましたが、サンドレリーフを始めた途端に雨。学校に戻りフレンズ班対抗のレクリエーションをして楽しみました。

一昨年は、赤羽根文化広場で「ころがしドッジボール」と「氷おに(鬼ごっこ)」を楽しんだ後、尾村山へ登りました。フレンズ班ごとに行動し、高学年が低学年の世話をしています。山頂での弁当は格別です。

春の遠足は、子どもたちにとって、校区の自然とふれあう貴重な行事となっています。

●みんなで協力して作ったサンドレリーフ



●盛り上がったころがしドッジボール



●合宿のスタート前には全員で校歌を合唱



●中継地点を目指すグループ



## 赤羽根中学校「オリエンテーション合宿」 赤中生になるためのステップ！

赤羽根中学校では、毎年4月の第2週に、1年生のオリエンテーション合宿が行われます。宇津江町にある青年の家までの片道約9kmの道のりをサンテパークたはら経由でグループごとに歩きます。生徒たちにとっては、中学校に入学してはじめての試練です。

高松、赤羽根、若戸、3小学校からの入学して間もない生徒たちが、クラスの新しい仲間たちとグループを組み、声を掛け合って歩く姿はほほえましくもあります。このオリエンテーション合宿では、「相手を思いやる気持ち」や「我慢する根気強さ」を育てること、また「友だちのよい面を見つけ、仲間の輪を広げる」ことを目的に活動します。そのために工夫されたプログラムがあり、いろいろなゲームを通して友だち作りをしたり、中学生としてのライフスタイルを学んだりします。そして、赤中生としてどんな生徒になりたいかの「目標」を決めます。この合宿が、本当の赤中生になるためのステップとなり、団結力を育てているのです。

る気持ち」や「我慢する根気強さ」を育てること、また「友だちのよい面を見つけ、仲間の輪を広げる」ことを目的に活動します。そのために工夫されたプログラムがあり、いろいろなゲームを通して友だち作りをしたり、中学生としてのライフスタイルを学んだりします。そして、赤中生としてどんな生徒になりたいかの「目標」を決めます。この合宿が、本当の赤中生になるためのステップとなり、団結力を育てているのです。



▲拾った方からやしの実を受け取るオーナーの皆さん(白リボン)

4月6日(土)  
願いを込めた  
やしの実が漂着

「愛のココナッツメッセージ・パート25」  
やしの実対面式が市内のホテルで開催されました。昨年6月、石垣島から投流した105個のうち、3個が11年ぶりに渥美半島に漂着。やしの実オーナーと拾った方の2組が招待され笑顔で対面を果たしました。



▲追悼の言葉を述べる福井春男田原市遺族連合会会長

4月11日(木)  
遺族の援護と  
恒久平和を祈念

田原市戦没者追悼式が、田原市総合体育館において、市の主催により無宗教で行われました。遺族や関係者など約600名が参列し、先の大戦などで尊い命を失った2227柱の英霊に黙とうや献花を手向け、恒久の平和を願いました。



▲木のペンダントを作る参加者たち(子ども工作教室)

4月14日(日)  
緑豊かな  
まちを目指して

市民緑花まつりがはなのき広場と田原文化会館で開催され、約7000名の来場者でにぎわいました。会場では、花苗の即売や各種体験教室などが行われ、フラワー作品コンテストでは、来場者の投票で富田松子さん(大草町)が最優秀賞に選ばれました。

# 広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想



## ●たはらエコ・ガーデンシティ推進計画を改訂しました

平成16年3月に策定した「たはらエコ・ガーデンシティ推進計画」は、平成19年3月に一次改訂し、昨年度二次改訂を行いました。

### ◆新たに取り入れた4つの視点

- ①省エネ・創エネ・蓄エネの導入
- ②防災・減災への取り組み
- ③人と人との絆の重要性
- ④エネルギー使用量の抑制

基本理念として掲げる『環境と共生する豊かで持続する地域づくり』を実現するため、7つのプロジェクトを展開していきます。

### ◆7つのプロジェクト

#### ◎菜の花エコプロジェクト

菜の花栽培や菜種の利活用など、菜の花をキーワードに農地の健全化を図る。

#### ◎資源循環プロジェクト

一般廃棄物や下水道汚泥など、貴重な資源をリサイクルして再利用する社会

を築く。

#### ◎エコ・エネルギー導入プロジェクト

市民や事業者などに対して太陽光発電などの新エネルギーの導入を推進する。

#### ◎省エネルギー推進プロジェクト

省エネ設備の導入や家庭におけるエコライフの推進など、省資源・省エネ化を図る。

#### ◎コンパクトシティプロジェクト

都市機能の整備や公共交通の整備など、快適性や利便性の高い低炭素型のまちづくりを推進する。

#### ◎グリーン・ネットワークプロジェクト

緑の回廊の形成や市民緑地の推進など、自然の大切さを認識し、自然の復元を目指す。

#### ◎エコ・インダストリープロジェクト

エコエネルギー産業の振興など環境面で優位性を持つ産業基盤を構築する。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数  
個人2151人・事業所83か所(4月末現在)

#### ▼エコエネ推進課

23局7401 FAX 23局0180

## 環境戦隊たはらエコレンジャー

# 環境けいじばん 12

ゴミゴミとリサイクルレンジャー

### 注意喚起情報の発令

大気汚染物質PM2.5に係る注意喚起の愛知県指針が示されました。今回は、その指針をご紹介します。なお、東三河地域の測定値は、田原市のホームページから見ることができます。

#### ●注意喚起情報の発令

午前5時～午後7時のPM2.5濃度の1時間値の平均値が85μg/m<sup>3</sup>を超過、または超過すると予想される時、愛知県からPM2.5注意喚起情報が発令されます。

#### ●発令の伝達方法

防災行政無線および安心・安全ほつとメールでお知らせします。

#### ●注意喚起情報が発令された場合

- ・外出や屋外での激しい運動をできるだけ控えてください。
- ・外出時には、微小粒子の捕集効率の高いマスクを使用してください。
- ・呼吸・循環器系疾患のある方、子どもや高齢の方は、体調に応じて行動してください。

#### ●注意喚起情報の解除

測定値が50μg/m<sup>3</sup>以下になったときは、注意喚起情報を解除します。

#### マダニ対策について

マダニが媒介するウイルスが引き起こす新しい感染症により、国内で8名の死亡が報告されています。(平成25年4月15日現在)

対策としては、マダニに噛まれる危険性を減らすことが最も大切です。マダニは、森林や草むらに広く生息し、春から秋にかけて活動します。森林などへ入る際は、**地肌**が隠れる**服装**を心がけてください。

#### ◆もし噛まれてしまったら

刺されても無理に引き抜かず、できるだけ病院で処置を受けてください。**発熱**などの症状がみられる場合は、早めに医師の診察を受けてください。正しい知識を持ち、感染リスクを下げましょう。



#### ▼環境衛生課

23局3541 FAX 23局0180  
<http://www.city.tahara.aichi.jp/>



## 津具高原ペンション グリーンメッセージ

姉妹都市、設楽町との交流拠点施設「グリーンメッセージ」とその周辺施設をご紹介します。



### ●グリーンメッセージ\*とは？

長野県との県境、標高約900mにある道の駅「つぐ高原グリーンパーク」のすぐそばにあります。姉妹都市、設楽町に田原市が建設した交流拠点施設です。

\*グリーンメッセージは「田原市ふれあいの館」の愛称

### ●田原市民にお得な割引制度

田原市の公共施設ですので、市民の皆さん(市内在住・在勤・在学の方)には、お得な割引制度があります。

#### ◎洋室 1泊2日(田原市民料金)

区分	2食付き	食事なし
高校生以上	5,700円	1,700円
小・中学生	4,100円	1,150円

#### ●お問い合わせ

- ・田原市役所 政策推進課 ☎23局3507
- ・グリーンメッセージ(田原市ふれあいの館)  
☎(0536)83局2343 <http://juns-kitchen.com/>

### ●おすすめモデルコース

1 日 目	川魚のつかみ取り ▶設楽町観光協会[要予約] ☎(0536)62局1000	★奥三河郷土館 ☎(0536)62局1440 ※火曜休み
	こんにゃくづくり体験 JA愛知東[要予約] ☎(0536)62局1865	★田峯城 ☎(0536)64局5505 ※月曜休み
グリーンメッセージに宿泊		
2 日 目	道の駅 つぐ高原グリーンパーク 川遊び、釣り、パターゴルフ ☎(0536)83局2344	きららの森、面ノ木園地 トレッキング ▶設楽町観光協会 ☎(0536)62局1000
	★茶臼山高原スキー場 芝桜、スキー ☎(0536)87局2345	ルアー・フライ管理釣り場 ▶設楽町観光協会 ☎(0536)62局1000

★印は、「ほの国子どもパスポート」が利用できる施設です。ただし、茶臼山高原スキー場は冬期リフトのみ利用できます。



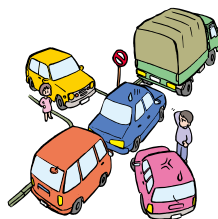
今回は、外出中に大災害が起きた時、無事に自宅へ帰るための支援についてご紹介します。

◆**帰宅困難者とは**

大地震などの災害によって、公共交通機関の運行が止まった場合、自宅まで帰ることが困難な人のことをいいます。公共交通機関だけでなく、自家用車でも、道路が通行できなくなったり渋滞になったりしますので、帰宅が困難になることがあります。

帰宅困難者の数は、南海トラ

ごんには、けんちゃんです。通勤や通学中、職場や学校にいるとき、突然の大地震に見舞われ、交通機関がまひしたときのことを想像してみてください。皆さんは自宅まで帰ることができるでしょうか。



フ巨大地震が発生した場合は、県内で最大約85万人と想定されています。

◆**徒歩帰宅支援ステーションとは**

愛知県と「災害時における徒歩帰宅者支援に関する協定」を締結している事業所では、災害で交通が途絶えた場合には、徒歩帰宅者に対して水道やトイレ、道路情報などを提供します。

支援可能な店舗にはステッカーが掲示されています。災害時、自宅まで歩いて帰ることになった場合に手助けしてくれる施設です。ぜひ、このステッカーを覚えておいてください。

◆**市内の徒歩帰宅支援ステーション**

- ・郵便局
- ・ガソリンスタンド(JAを除く)
- ・コンビニエンスストアなど

▼防災対策課 ☎23局3548



みんなできり組む防災・減災

けんちゃん

徒歩帰宅支援ステーション

**防災知恵袋**

25

おしらせ				
		INFORMATION		

# 募集

WANTED

## 保美貝塚 発掘調査臨時職員

- ▼募集人員 3名
- ▼採用期間 6月17日～7月19日
- ▼勤務場所 保美町、赤羽根文化財収蔵庫ほか
- ▼勤務内容 発掘の補助作業発掘出土品の整理
- ▼勤務形態 午前8時30分～午後5時15分
- ▼賃金 時給920円（室内作業時は830円）
- ▼選考方法 面接（詳細は後日通知）
- ▼申し込み 5月24日（金）までに文化財課にある履歴書に必要な事項を

記入のうえ提出／郵送の場合は締切日必着

### ▼文化財課

〒441-3492 住所不要

☎23局3635 FAX22局3811

## ライトダウンキャンペーン 参加事業所

ライトアップ施設などの照明を消す「ライトダウンキャンペーン」への参加事業所を募集します。

ご家庭でも不要な照明はこまめに消すなど、

省エネに

ご協力く

ださい。

▼対象 市内事業所など

▼内容 6月21日（金）～7月7日（日）／

午後8時～10時の2時間、施設照明

などを消灯

▼申し込み エコエネ

推進課にある申込書に必要な事項を記

入のうえ、6月13日（木）までに直

接またはFAX・郵送にて／登録票

は市ホームページからダウンロード

可

▼その他 参加事業所数などの

実施状況を、市ホームページにて公

表

▼たはらエコ・ガーデンシティ地域

協議会事務局（エコエネ推進課内）

〒441-3492 住所不要



☎23局7401 FAX23局0180  
http://www.city.fahara.aich.jp/

## 愛知県障害者委託訓練 訓練生

### ビジネスコミュニケーション WEB製作基礎コース

▼募集人員 5名

▼対象 移動が

困難な身体障害者で、自宅にイン

ターネットの設備があり、メールソ

フトやオフィスソフト等の基礎的操

作ができる方

▼日程 7月2日

（火）～10月4日（金）の期間の毎

週月・金曜日／午前10時～午後3時

▼場所 各訓練生宅

▼内容 ビジ

ネスコミュニケーション、HTML

とCSSの記述、画像編集等の技術

を習得し、在宅でWEBページ作成

を可能にする

▼受講料 無料

▼選考方法

面接で選

考

▼申し込み 6月

7日（金）

までに公共

職業安定所

にて



▼愛知障害者職業能力開発校

☎（0533）93局2102

# 生活

## 屋外スポーツ施設を 夏季早朝開放します

施設の有効活用

および節電対策の一環として、一部

の屋外スポーツ施設の早朝開放を実

施します。

▼開放施設 ①テニスコート（中央・

滝頭公園、渥美運動公園）／野球場

（滝頭公園、緑が浜・渥美運動公園）

／多目的広場（中央・滝頭公園、緑

が浜・渥美運動公園、赤羽根文化広

場）

▼開放期間 曜日 6月15日

（土）～9月15日（日）／ただし、

滝頭公園野球場は整備のため、8月

1日（木）～9月15日（日）／原則、

火～日曜日

▼開放時間 午前6時

～9時

▼使用料 各施設の規定の

使用料

▼申し込み 各施設の窓口

で直接申し込み（施設予約システム

は不可）

▼受付開始日 6月1日（土）

▼生涯学習課

☎22局6061 FAX22局6455



### 県立養護学校体験入学

来年度に小・中・高等学校入学予定で、障害があると思われるお子さんとその保護者を対象に、特別支援学校の様子を知っていただくため、体験入学を行います。

希望の方は、直接電話で各学校へお問い合わせください。なお、各特別支援学校では、体験入学以外の日にも随時相談に応じています。

◆豊橋養護学校（豊橋市西口町）  
☎（0532）61局8118

▼期日Ⅱ【小・中学部】6月28日（金）、10月25日（金）【高等部】進学説明会6月10日（月）▼対象Ⅱ手足の不自由なお子さん

◆豊川養護学校（豊川市平尾町）  
☎（0533）88局2553

▼期日Ⅱ【小学部】7月22日（月）、10月28日（月）【中学部】7月23日（火）【高等部】入学相談会7月24日（水）▼対象Ⅱ知的な発達の違いや情緒に障害のあるお子さん

◆豊川養護学校本宮校舎（豊川市大木町）  
☎（0533）93局0515

▼期日Ⅱ【高等部】学校説明会6月3日（月）▼対象Ⅱ知的な発達の違いや情緒に障害のあるお子さん

◆豊橋聾学校（豊橋市草間町）  
☎（0532）45局2049  
FAX（0532）47局7545

▼期日Ⅱ【高等部】見学説明会6月18日（火）午後1時30分～3時20分▼対象Ⅱ聞こえやことばに障害のあるお子さん

◆大府養護学校（大府市森岡町）  
☎（0562）48局5311

▼期日Ⅱ【小・中学部・高等部】10月23日（水）、11月15日（金）▼対象Ⅱ病気で入院しているお子さん

▼学校教育課  
☎23局3679 FAX22局3811

### 里親養育体験発表会 参加者

里親の体験発表および里親制度の説

明を行います。里親制度について関心のある方は、ご参加ください。

▼対象Ⅱ一般 ▼定員Ⅱ80名程度（申し込み不要）▼参加費Ⅱ無料

▼日時Ⅱ6月13日（木）午前10時30分～正午 ▼場所Ⅱ愛知県東三河県庁大会議室（2階）

▼その他Ⅱ託児あり  
▼東三河児童・障害者相談センター  
☎（0532）54局6465



### 海洋環境保全推進月間 6月1日（土）～30日（日）

#### ●未来に残そう青い海

- 吸殻、釣り糸などを海にポイ捨てしない
- 弁当容器、空き缶などのごみは持ち帰る
- 使用しなくなったボートは放置せず、適正に処分する

#### ●海洋汚染も118番

海へのごみ投棄や海洋汚染、海での事件・事故を見かけたら、118番通報をお願いします。

▼三河海上保安署  
☎（0532）34局0118

### エイズ休日即日検査

平成25年度「HIV検査普及週間」に休日即日検査を実施します。検査は無料・匿名です。

▼日時Ⅱ6月2日（日）午前9時～11時 ▼場所Ⅱ豊川保健所（豊川市諏訪三丁目237）▼その他Ⅱ感染の機会から3カ月以上たってから検査を受けてください。  
※詳しくはお問い合わせください。

▼愛知県豊川保健所生活環境安全課  
☎（0533）86局3177

## 寄付

DONATION

次の方からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

▼3月5日、財団法人海上保安協会様から、海浜事故の軽減、津波避難啓発などのため、注意看板1基。（日出海岸に設置）

### クールビズのお知らせ

6月1日（土）から9月30日（日）までをクールビズの期間とし、職員は軽装で業務にあたります。ご理解をお願いします。

# 歴史探訪

## クラブ! 其の146

### History Inquiry Club



文化財課 ☎23局3635  
FAX 22局3811

### 失われた天然記念物

大正時代の終わりに戦前までに発刊された『愛知県史跡名勝天然記念物報告』という本があります。これは、現在の文化財保護法の前身となる史蹟名勝天然記念物保存法が大正8年に制定されたことにより、県内の重要な遺跡や天然記念物を調査し、まとめたものです。名古屋城はもちろんのこと、当時話題となった遺跡、田原市では田原城や伊良湖岬などが報告されています。天然記念物も積極的に報告され、

私の聞いたこともないものがたくさんありました。市内では、「野田村大字野田葭池（芦ヶ池）の鬼蓮」「赤羽根村大字赤羽根光明寺の竹柏（ナギ）」「野田村野田尋常小学校のほるとの木」「伊良湖村大字長池の白花の長葉の石持草」「野田村大字野田法光院の桐樹」が報告され、これらのうち、戦後指定の天然記念物となったものもあります。

西山町のシロバナナガバノイシモチソウは昭和33年に県の指定となりましたが、環境変化や盗掘によって絶滅し、昭和51年に指定解除となりました。現在でも市の指定となっており、大事に保護されている野田小学校のホルトノキ以外は、残念ながら今もう見ることはできません。

また、昭和42年に県指定となった保美町の霊山寺のヤマトタバナは、枯死し昭和59年指定解除となったこと



●大正時代のオニバス（芦ヶ池）

も書き留めておきましょう。これらの天然記念物は、地元の方と深く関わりながら守られていました。このような大事なものがあつた記録を残し、その意義を伝えていかなければいけないと思います。そんな折に、ある研究機関から、市の農政課を通じて芦ヶ池のオニバスについて問い合わせがありました。それは、ある生息地の保護対策を立てるためでした。

しかし、オニバスは芦ヶ池の調整池を造るため、生息場所から移され、残念なことに現在では絶えてしまいました。私の記憶には、水面に力強く浮かぶオニバスの葉と花の姿が焼きついていきます。それは25年も前のことです。

報告書には「吾県内鬼蓮の発生地少からずと雖も未だ完全に保護せらるる所なし。されば出来得べくんば当池の一部を限りてなりとも指定を受けて永遠に保存繁殖をはかられん事を望む」とあります。

市で所有しているオニバスの葉の標本は、痛ましく何かを訴えているようです。



▲オニバスの標本

- ※1「ナガバノイシモチソウ」食虫植物。西山町の花は白く、さらに貴重であった
- ※2「オニバス」スイレン科の植物で、葉にトゲがある

(増山)

### 今月の「表紙」

▼田原まつり会館がリニューアルオープンしました。伝統と個性あふれる田原の風と山車を間近に見ることが出来る施設です。伝統を守り受け継いでいくことは大変なことですが、日本人としてとても誇り高いことです。いつでも行けるからこそなかなか行かない、田原を知る施設が市内には点在しています。ぜひ、足を運んでみてください。新しい発見があるかも。(O)

【表紙の写真】田原まつり会館(田原町)